



Ritsumeikan
Asia Pacific University



APハウス2新築工事竣工記念

2001. 09. 20

学校法人 立 命 館



人材育成の拠点として更なる発展を

大分県知事 平松 守彦

立命館アジア太平洋大学APハウス2の竣工に当り、一言お祝いを申し上げます。

21世紀は「アジアの時代」と言われています。大分県では、「アジアとの共生」を目指し、アジア九州地域交流サミットの開催や2002年ワールドカップの日韓共同開催など、アジアとの交流を積極的に推進しています。

開学2年目を迎えた立命館アジア太平洋大学では、既に51の国や地域からの国際学生663名を含む、1,652名の有為な学生が学んでいます。さまざまな分野で県民との交流や意見交換が活発に行われ、本県の国際化や地域活性化の推進に大きく貢献していただいています。

この度のAPハウス2の完成により、日本人学生と国際学生相互の交流や多くの海外協定大学からの交換留学生受入れなどが一層促進され、立命館アジア太平洋大学が、アジア太平洋地域における人材育成の拠点として更なる発展を遂げられますようご期待申し上げます。



APハウス2竣工をお祝いします

別府市長 井上 信幸

立命館アジア太平洋大学APハウス2の竣工にあたり、一言、お祝い申し上げます。

早いもので、立命館アジア太平洋大学が開学して、1年半が経過しました。

開学前は、多くの期待と不安が交錯していましたが、これまで、大学の運営全般において、予想を遥かに超える順調な滑り出しで、本当に嬉しく思っております。

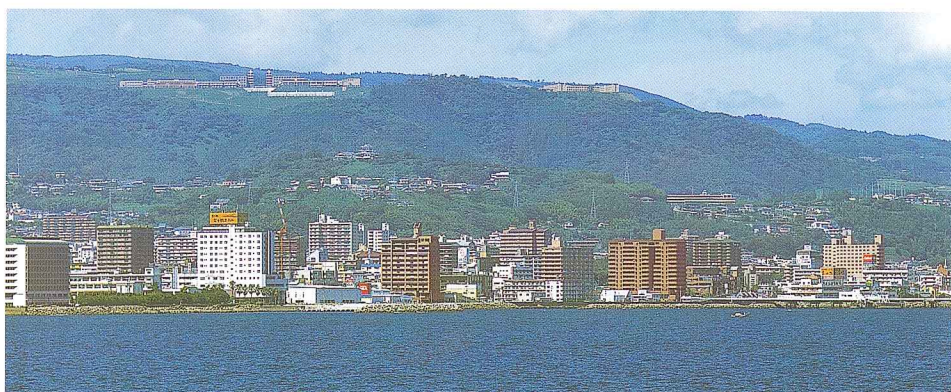
現在、660名を超える海外からの留学生がこの立命館アジア太平洋大学のキャンパスで学んでおり、市民と文化、スポーツ、学術など多くの交流を深めておりますが、今後とも、別府市の国際化に立命館アジア太平洋大学の協力をお願いしたいと考えています。

留学生は、異なる文化を理解する上での身近な教師であるとともに、将来、別府市との友好の懸け橋となることが期待されています。

別府市も様々な面から留学生を支援しつつ、相互に理解を深めていくことが重要だと認識しています。

これからの別府市は、外国人と日本人が国籍や文化の違いを超えて、お互いに理解しあえる共生の町として発展するよう、今後とも努力していきたいと考えています。

このAPハウス2をひとつの核として、留学生と別府市民のさらなる交流が進むことを心から祈念し、私のごあいさつといたします。



別府湾からAPUを望む



ご挨拶

学校法人立命館 理事長 川本 八郎

立命館アジア太平洋大学（APU）の学生住居施設であります「APハウス2」の建設工事竣工にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

2000年4月に開学しました立命館アジア太平洋大学は、本年10月の秋期入学者を迎え入れますと60を越える世界の国・地域から約800名の国際学生と約1000名の国内学生が集い、名実ともに国際大学として前進しつつあります。

この「APハウス2」は、「APハウス1」と同様に、居住空間を提供するとともに、国内学生と国際学生が相互に学び合い、励まし合うことによって多文化生活空間を創造し、実践的な国際交流能力を習得させることが目的であります。ここで生活を送った学生諸君が、新しい国際人として世界に羽ばたいてくれることを切に願っております。

最後になりましたが、設計・監理をご担当いただいた株式会社山下設計、施工をご担当いただいた熊谷組・梅林建設共同企業体をはじめといたしました工事関係者の皆様方に心よりお礼を申し上げます。



ごあいさつ

立命館アジア太平洋大学長 坂本 和一

立命館アジア太平洋大学APハウス2の竣工にあたり、ご挨拶申し上げます。

APUは、開学2年目を迎えておりますが、すでに日本を含め世界52ヶ国・地域からの学生を迎え、まさに「マルチカルチュラル・コミュニティ」が形成されつつあります。

APハウス2は、国際学生1回生のみならず、生活指導を行う上回生、短期留学生、国際学生との交流をさらに深めるための日本人学生達が入居し、APハウス1を含め収容学生数は総計902名となります。APハウス2の完成が、この「マルチカルチュラル・コミュニティ」をより一層発展させる役割を果たすものとなり、APUの発展に大きく貢献するものとなることを確信しております。

ここで、短期間の工期で建物を完成させていただいた、設計監理の株式会社山下設計関西支社、施工の熊谷組・梅林建設共同企業体ならびに多くの協力企業各社の皆様方に御礼申し上げますとともに、今後とも本学に対しまして変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



APハウス2の完成にあたって

RA(レジデント・アシスタント)リーダー WU Shiow Roei
アジア太平洋マネジメント学部 2回生 出身：台湾

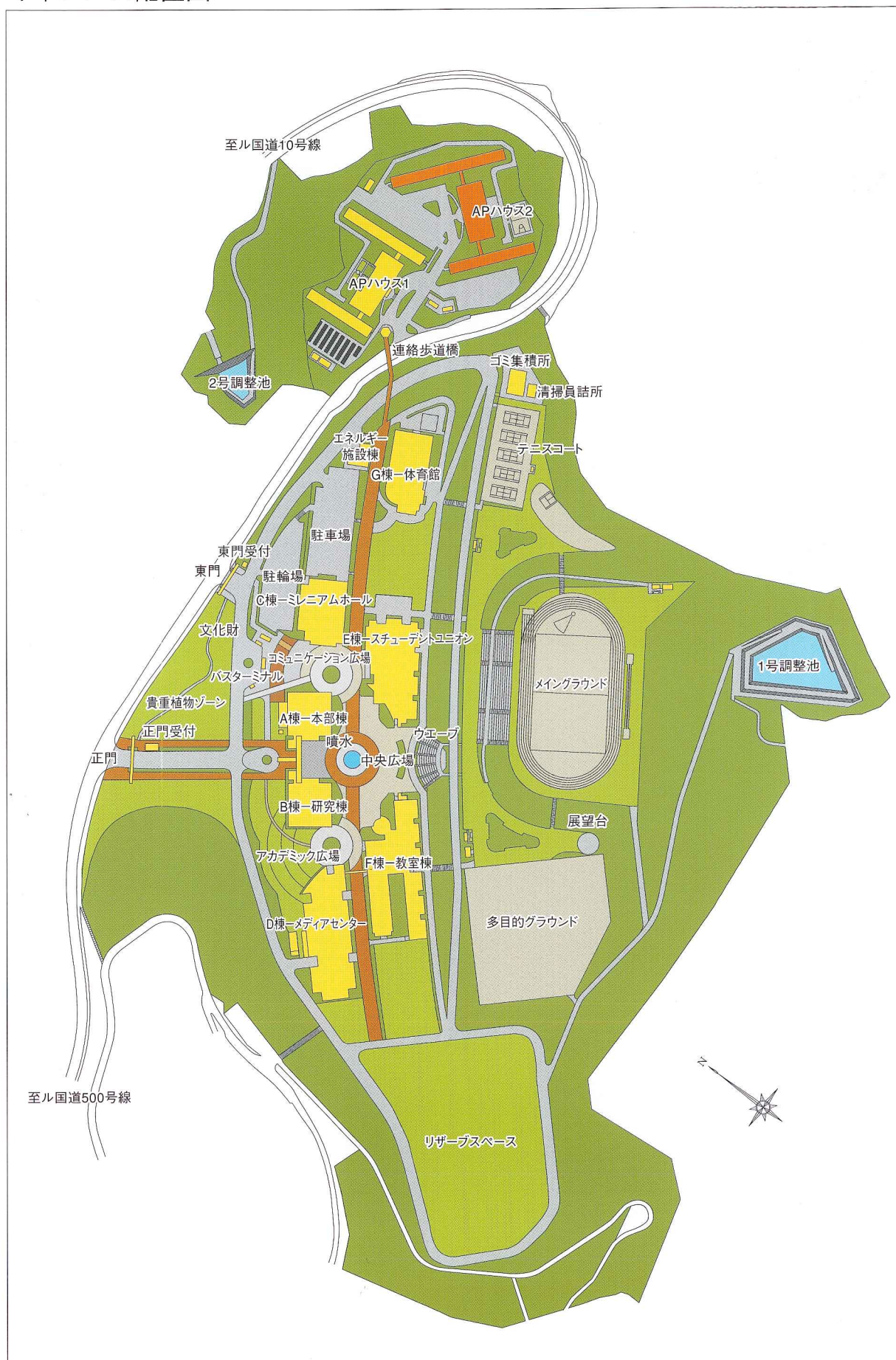
APハウス2の完成に際し、寮生の生活をサポートするRAを代表してごあいさつを申し上げます。

私たちAPハウスに生活する学生にとって、現在のAPハウス1に加えて、新たに数多くの学生を迎えることのできるAPハウス2の完成は、この上ない喜びです。

APハウスは、異なった国や地域の学生がそれぞれの文化や習慣を理解し、互いに励ましあい、共に喜ぶことができる心やすらぐ場所です。APハウスが寮生にとっての「日本のふるさと」のような場所となるよう、心のつながりを大切にしながら精一杯のサポートをしたいと思います。

何もかもすべてが新しかった1年半前。これからも新鮮な気持ちと思いやりを忘れずに、寮生みなさんと一緒に力を合わせてAPハウスの新しい歴史を刻んでいきたいと思っています。

キャンパス配置図





エントランス



ロビー



インターネットルーム



学習室



ミーティングルーム



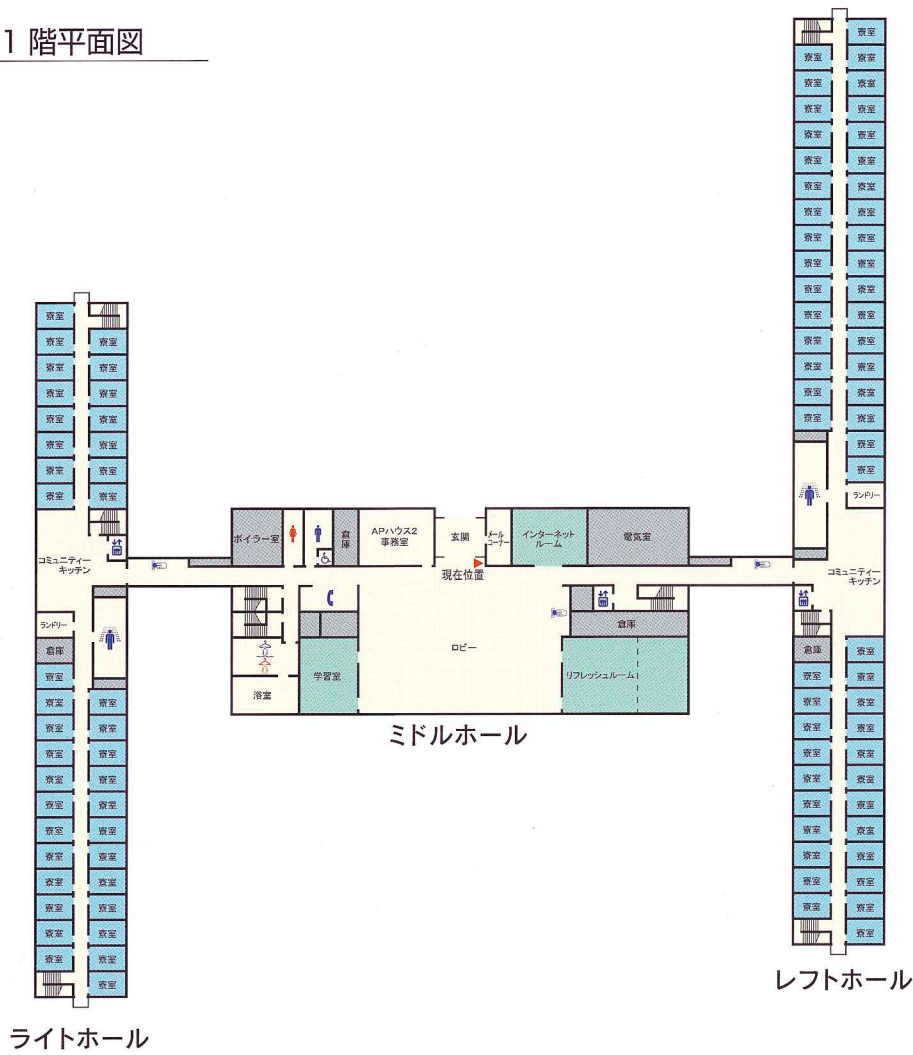
コミュニティーキッチン



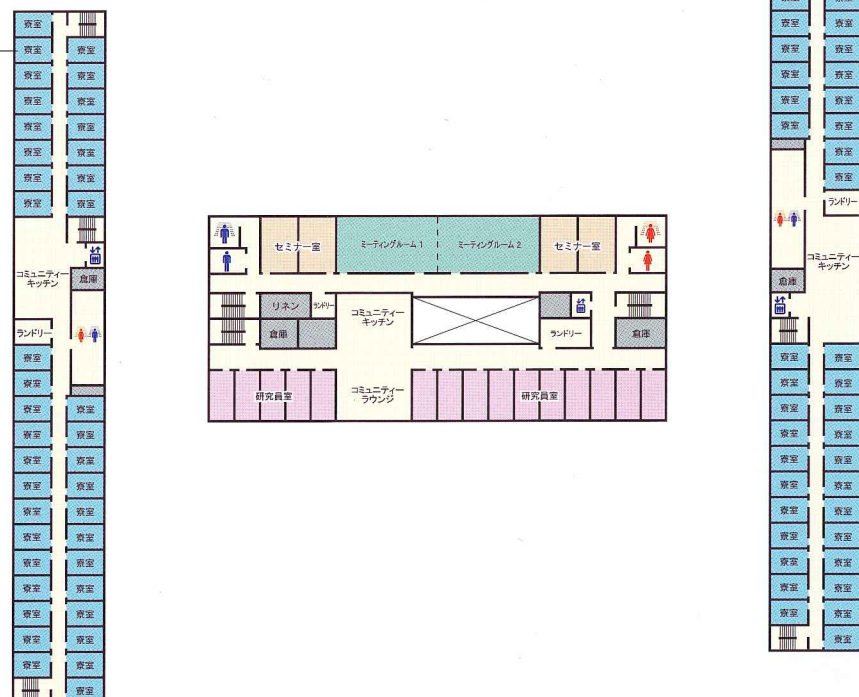
寮室

建物平面図

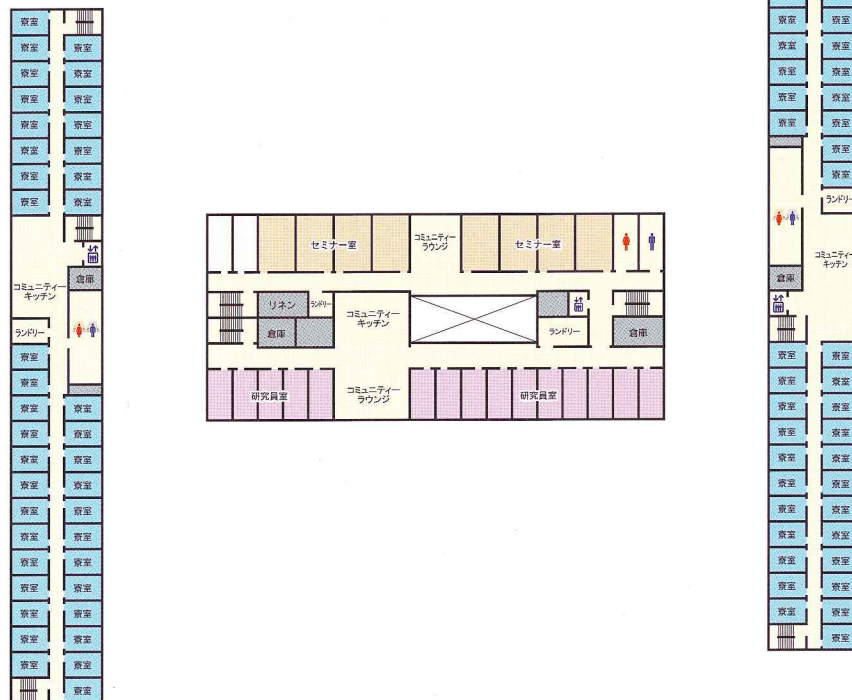
1 階平面図



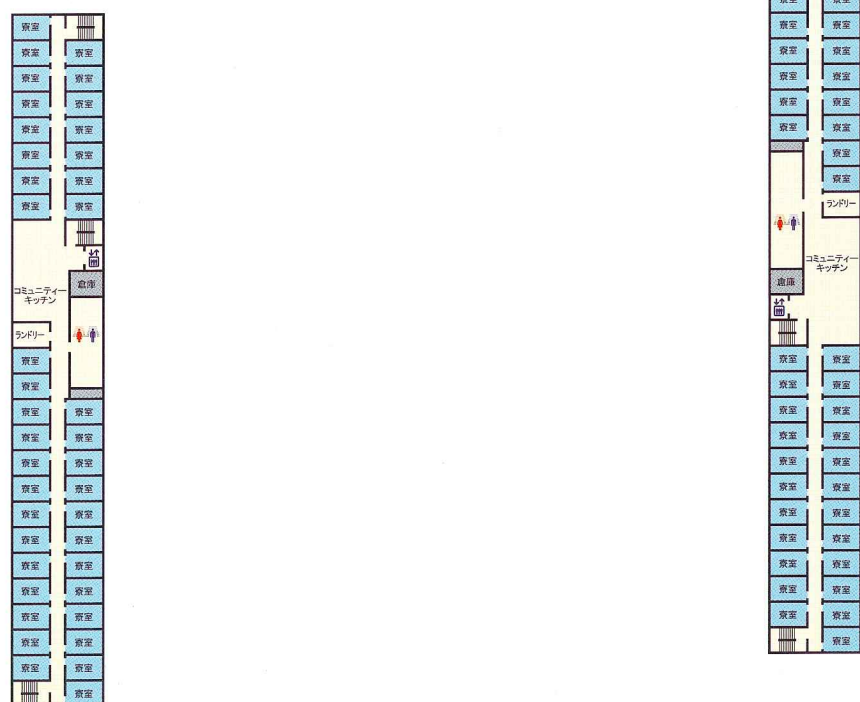
2 階平面図



3 階平面図



4・5 階平面図



竣工のごあいさつ

株式会社 山下設計 代表取締役社長 柴田 寛二

このたび立命館アジア太平洋大学A P ハウス2新築工事がめでたく竣工の運びとなりましたことを心よりお祝い申し上げます。今日、この日を迎えることが出来たのも、学校法人立命館ならびに大分県、別府市及び関係各位の終始かわらぬ熱意あるご指導、ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。又、高度な技術と弛まぬ熱意をもって、この工事を完成させられました施工会社各位に心より敬意を表するものであります。

開学2年目を迎えられた立命館アジア太平洋大学は、50を超える国と地域からの留学生により、国際大学としてふさわしいキャンパスに充実されてゆく中で、本工事はキャンパスライフに格別の意義をもつ寮地区の拡張事業であります。

本計画は当初より予定されておりました施設の将来展望の考え方を基本に、キャンパスをひとつの都市としてとらえ、既存建物との整合、周辺環境との調和等に配慮し、教育・キャンパスライフのバックボーンを確認しながら、その具現性が計られたものであります。元来大学は都市の重要な施設であり、多くの文化・情報が、地域の様々な環境と共生し、持続的な関係を形成し、都市に新たな方向性をフィードバックすることすら可能であります。

立命館アジア太平洋大学は、大分県、別府市、日本とアジア太平洋地域さらには全世界との新しい関係の創造を年毎に大きく積み重ねてゆかれることでしょう。その日々発展してゆく姿に継続的に参加する機会を与えていただいたことに対してあらためて感謝申し上げるとともに、立命館アジア太平洋大学が益々発展されますことを心より祈念申し上げ、竣工のご挨拶とさせていただきます。

竣工に際して

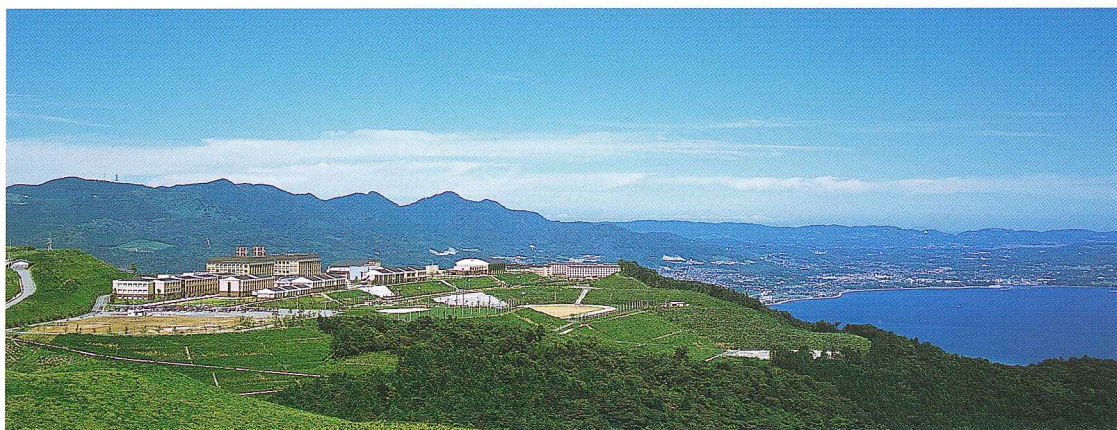
株式会社 熊谷組 代表取締役 鳥飼 一俊

立命館アジア太平洋大学（A P U）A P ハウス2が竣工を迎えられましたことは誠に喜ばしく、施工者を代表して心よりお祝い申し上げます。

「21世紀を切り拓く国際感覚と専門能力を磨き育む」というA P U建学の精神のもと、50を超える国や地域からの学生の皆様の学舎として開校2年目を迎えられています。このA P ハウス2の竣工により、一層の施設の拡充が図られ、更なる発展を遂げられるものと確信いたしております。このような意義深い事業に、山下設計様の設計・監理の下で、施工者として参画する機会を頂きましたことは、この上なく光栄なことで、一同心から感謝申し上げます。

無事工期通りにお引き渡しすることができましたことは、立命館様をはじめ、大分県様、別府市様ならびに関係各位の皆様のご指導ご支援の賜と厚く御礼申し上げます。

教育を通じて、国内はもとより国際貢献に邁進されます立命館様の、今後ますますのご発展を祈念いたしまして御祝と御礼の挨拶とさせていただきます。



工事概要

設計監理 株式会社 山下設計

施 工 代表会社 株式会社 熊谷組

建築工事 株式会社 熊谷組 梅林建設 株式会社 共同企業体

(協力企業) 電気設備工事 株式会社 九電工 株式会社 きんでん 共同企業体

空調給排水衛生設備工事 ダイダゲン 株式会社

昇降機設備工事 株式会社 日立ビルシステム (株式会社日立製作所)

電話幹線工事 協和テクノロジズ 株式会社

情報設備 株式会社 日立製作所 日興通信 株式会社

機器・備品 株式会社 クレオテック

(協力企業) 株式会社 イーキ 株式会社 岡村製作所 大分交通 株式会社

工 期 起工式 2001年1月20日

建物竣工 2001年8月31日

外構工事完了 2001年10月31日予定

建物構造規模

構 造 鉄筋コンクリート造 3階および5階建て

面 積 建築面積 3,686.52 m² (付属建物含む)

延床面積 14,311.85 m² (付属建物含む)

各階床面積 1 階 3,420.59 m²

2 階 3,267.98 m²

3 階 3,267.98 m²

4 階 2,048.76 m²

5 階 2,048.76 m²

塔屋 40.10 m²

付属建物 倉庫 157.68 m²

ゴミ集積場 60.00 m²

施設概要 寮室 478室 研究員室 30室 セミナー室 12室

1階 ロビー インターネットルーム リフレッシュルーム 学習室 APハウス2事務室 メールコーナー

浴室 寮室 コミュニティキッチン ランドリー シャワーコーナー

2～3階 セミナー室(1室8名収容) 研究員室 会議室(2階)

寮室 コミュニティキッチン ランドリー

シャワーコーナー

4～5階 寮室 コミュニティキッチン ランドリー シャワーコーナー



定礎揮毫 坂本 和一 (立命館アジア太平洋大学長)



付近見取図



学校法人 立 命 館

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
TEL (075) 465-1111

立命館アジア太平洋大学

〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1
TEL (0977) 78-1111